

科目名	野球の技術と科学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			全学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	The Art and Science of Baseball	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	こいずみ けん	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	小 泉 健	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	野球を科学的に捉えて、成功するための実践的な学習をする。				
到達目標	野球の技術を向上させるとともに、自ら考える力を育成する。また、野球の指導者になるために必要な知識・教養を習得する。				
授業概要	科学的根拠に基づいたトレーニングを研究・実践するほか、心理学や生理学、栄養学、管理学などの理論も扱う。プロ、アマを問わず、著名な経験者にゲストスピーカーとして参加してもらうこともある。				
授業計画					
第1回	授業の概説				
第2回	実習（1）				
第3回	実習（2）				
第4回	実習（3）				
第5回	実習（4）				
第6回	実習（5）				
第7回	実習（6）				
第8回	実習（7）				
第9回	認知論と野球				
第10回	人生における野球				
第11回	運動における生理学的な神経の働き				
第12回	運動に及ぼす心と栄養の影響 ―心理学的見地から見る―				
第13回	データを踏まえた自己分析				
第14回	野球を職業としてきた人たちの栄光と挫折 ゲストスピーカーによる講義（1）				
第15回	野球を職業としてきた人たちの栄光と挫折 ゲストスピーカーによる講義（2）				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	与えられたテーマについて、事前に十分研究してください。				
履修条件 受講のルール	野球の技術の向上を強く望み、トレーニング・研究を続けていること。				
テキスト	授業資料のコピーを配布するほか、授業で提示します。				
参考文献・資料	適宜配布します。				
成績評価の方法	実戦（50%）、レポート（20%）、発表（10%）、定期試験（20%）を目安として、総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。				
オフィスアワー	授業終了後				
成績評価基準	秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）				

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	自分自身や過去を振り返ることによって、自分の能力のほとんどが使われていないことを知ってください。考え方を考えることによって、いろんな可能性が開けてきます。思考の持っている力を理解していただきたいと思います。